

概要

NPOによる乗合タクシーの導入、エコ通勤など総合的な生活交通の取組を積極推進！

公共交通の利便性・快適性の向上及び意識啓発を行うことで、利用者数減少に歯止めをかけるため、乗合タクシーの導入促進やコミュニティバスの再編運行、エコ通勤の推進、モビリティマネジメント、わかりやすい公共交通案内の充実、鉄道のパークアンドライド・サイクルアンドライド等を行う。

○乗合タクシーの導入促進

西坂地区においては、NPO法人「地域の公共交通を守る会」が乗合タクシーを運営。ジャンボ車両の導入により、運行エリアと利用者の拡大を図る。
(停留所整備、路線図・チラシ等作成)

○コミュニティバス(真備地区)の再編運行

合併により編入された地域を運行するコミュニティバスを、利用しやすく効率的な運行形態に再編運行する。

○意識啓発による公共交通利用促進

水島コンビナート地区を対象としたエコ通勤の推進、市民・小学生等を対象としたMM及びICカード等のPRにより利用促進を行う。

○案内情報板等わかりやすい公共交通案内の充実

JR倉敷駅、児島駅バスターミナル等に各社共通の路線図の設置及び公共交通マップを作成し、わかりやすく情報提供を行う。

○駐輪場整備等利用者の利便性・快適性の向上

バス停留所に上屋を設置し、待合環境を改善する。利用率の高い井原鉄道川辺宿駅の駐車場増設、駐輪場が未整備の水島臨海鉄道福井駅に駐輪場を整備することにより、利便性・快適性を向上し、利用促進を図る。

○真備コミュニティバスの再編運行



○井原鉄道P&R駐車場整備



○水島コンビナートエコ通勤



○西坂地区乗合タクシーの導入促進



○水島臨海鉄道S&R駐輪場整備



○学校MM(バス乗り方教室)

○ICカード等利用促進

○バス共通路線図(倉敷、児島駅)

○公共交通マップ作成



○バス停留所上屋整備



概要

航路の合理化・効率化と交通不便地域の乗合タクシー導入で島の生活交通を確保！

市の公共交通は、住民の生活圏が広島市や呉市に及ぶことから、必然的に航路が基軸を担い、市内の主要拠点間の移動は路線バスが担っている。

西能美航路を再編し、航路の合理化・効率化を行い、満足度の向上も図られた。また、島内の交通不便地域には、乗合タクシーの実証運行を開始した。

○西能美航路の合理化・効率化

・平成22年度に江田島市が運行する中町・高田～宇品のフェリー便(平日6便)を休止し、減った便数を運賃値下げした高速船の増便(平日20便から27便)で代替するとともに、車両については芸備商船が運航する三高・大須～宇品航路に集約する実証運航を実施。運行回数、運行時間、運賃とも利用者の満足度が向上したため、平成23年4月から休止していたフェリーを廃止し、本格運航に移行。

○交通空白不便地域への移動手段確保

・バス路線から離れている、あるいは使いたい時にバスが運行していない等の理由により、公共交通を利用できない集落が存在。こうした住民の移動ニーズに応えるため、デマンド型乗合タクシー(おれんじ号)を実証運行(江田島地区、沖美地区)。

○サイクル＆シップライド型エコツーリングの推進

・航路利用者の増加を図るため、サイクリングマップを作成し、サイクル＆シップライド型エコツーリングを推進。中国旅客船協会連合会の割引チケット事業などとタイアップ。



実証運航の概要

- 中町・高田～宇品航路と三高・大須～宇品航路
- 期間は平成21年10月1日～平成23年3月31日の6ヶ月間
- 中町・高田～宇品航路が次のとおり変更
①フェリー便は休止
②高速船を増便→1日20便から27便に
③高速船運賃を値下げ
→片道(大人)1,030円から930円に
- ※三高・大須～宇品航路は、運賃やダイヤの変更はありません。
※道筋変更料金の料金は変更されます。ただし、道筋変更料金は料金の変更はありません。

西能美航路の合理化・効率化に伴う
実証運航を実施



Cycle Island ETAJIMA

江田島市サイクリングマップ

実証運航を実施

サイクリングマップ

自転車で島内を周遊して下さい。また、島は海賊なので特に要注意で下さい。

自転車運行規則を遵守する場合は、歩行者優先で通行運転しましょう。

信号や歩道標識に従って通行運転しましょう。

自転車走行時にサクサク♪

マイケンで荷物を積みながらの運転や、荷物電動を運んでしまうのは運転の運転、必ずそれらの運転など「危ない運転」は危険でしょう。

運転して立ち止まつたら、周りに荷物をつけるため、ドライブを止めましょう。(ドライブ内でも問題) また、後続車に気づかせるため、荷物運行もしくは荷物軽減をつけるでしょう。

父安内は「隣地を走り、隣地を通じて島内を走る場合が何時で歩きましょう。

安全運転のため、ハンドルは必ず握りましょう。

島内は狭い道が多い、出来も悪い事多めなため、スピードは絶対に控えめに。

お問い合わせ用
問合せ・レンタサイクルを貸すことで
江田島市観光課 082(3)42-4873
問合せ・貸すところ
江田島市工務課 082(3)42-4871
E-mail : kankoushi@tajima-hiroshima.jp
【サイクリングマップ・制限】貸すところ
江田島市土産課 082(3)42-2872
E-mail : takumi@tajima-hiroshima.jp

問合せ・レンタサイクルを貸すことで
江田島市観光課 082(3)42-4873
問合せ・貸すところ
江田島市工務課 082(3)42-4871
E-mail : kankoushi@tajima-hiroshima.jp
【サイクリングマップ・制限】貸すところ
江田島市土産課 082(3)42-2872
E-mail : takumi@tajima-hiroshima.jp

問合せ・レンタサイクルを貸すことで
江田島市観光課 082(3)42-4873
問合せ・貸すところ
江田島市工務課 082(3)42-4871
E-mail : kankoushi@tajima-hiroshima.jp
【サイクリングマップ・制限】貸すところ
江田島市土産課 082(3)42-2872
E-mail : takumi@tajima-hiroshima.jp

問合せ・レンタサイクルを貸すことで
江田島市観光課 082(3)42-4873
問合せ・貸すところ
江田島市工務課 082(3)42-4871
E-mail : kankoushi@tajima-hiroshima.jp
【サイクリングマップ・制限】貸すところ
江田島市土産課 082(3)42-2872
E-mail : takumi@tajima-hiroshima.jp



おれんじ号
①江田島北部線

平成24年4月より
サービス内容を変更し、試験運行を継続します。

月・水・金曜日
(朝日・夜支那を除く)

1車両につき
300円 ※小学生以下は半額

おれんじ号の特徴

- ・バスやタクシーとは違う新しい公共交通！
- ・ご利用は簡単で、予約の電話をかけるだけ！
- ・停留所まで行かなくても、近づくの運行路線上で乗り降り可能！
- ・料金はスーパーなどのすぐ近くで乗り降りできるので非常に便利！

概要

地域ニーズに対応した公共交通サービスの見直しと新サービスの実現！

平成22年3月1日設置

鳥取県中部地域は倉吉市に都市機能が集中し、各町への路線は倉吉市から放射状に運行されている。個別路線の状況や地域住民のニーズの調査を行い、圏域住民にとって真に必要な路線設定等、よりよい公共交通ネットワークの形成を図る必要があるところ。

平成23年10月より、公共交通によるアクセスが不便であった倉吉駅北部の商業施設に循環路線バスの実証運行を開始。

○地域公共交通の現況と課題

・現況

鳥取県中部地域は、沿岸部にJR山陰本線があり、倉吉市から周辺市町村に広域路線バスが放射状に運行。

・課題

路線バス補助金の負担抑制、既存路線の見直しと生活交通の確保、利用者の多様なニーズの対応と公共交通の利用促進が求められている。

○新規路線バスの実証運行

・平成23年10月1日から、これまで公共交通によるアクセスが不便で運行要望が多かった倉吉駅北部の新興商業施設に、倉吉駅南口バスターミナルから駅北部の国道179号線を循環する路線バス(中型バス)の実証運行を開始。所要時間は約30分、均一運賃(中学生以上150円、小学生100円)で毎日運行されており、効率的で利便性の高い路線になっている。



概要

生活交通としての地域鉄道を観光と連携して活性化を!

JR三江線は清流江の川に沿って走り、季節を通じて風光明媚で沿線には観光資源が点在していることから、日常利用の拡大の可能性調査だけでなく観光資源調査などを行い、三江線の維持・活性化及び沿線地域の活性化を図る必要がある。

このため、総合時刻表(日常利用版、観光利用版)の作成により、二次交通や沿線情報の発信を図るほか、イベントの実施や、旅行ツアーを実施し、三江線の魅力のPRを実施中。

○地域の公共交通(JR三江線)の現況と課題

・現況

島根県江津市と広島県三次市を結ぶ鉄道(108km)で、通院、通学等に利用する沿線住民の生活の足。平成18年に豪雨災害の全線復旧に1年程度要し、近年利用客は大きく減少。地域のローカル利用が中心であり、路線そのものが収益を生みにくい状況にある。

・課題

日常利用が減少する中、通学生及び高齢者の通院等交通弱者の生活交通の確保を図る必要がある。また、沿線の風光明媚な景観、海山の食資源等観光誘致の可能性をもった素材が点在しているが、十分に活かしきれていない状況にある。

○沿線住民による日常利用の促進、江の川沿い景観や文化、食等の活用

- ・日常利用版・観光利用版の総合時刻表を作成し、主要駅の二次交通接続や沿線情報を発信。
- ・回数券購入補助制度による利用者の確保・拡大を図る。
- ・平成23年12月2.3.4日の三日間で開催された「INAKA イルミ」とタイアップ。「三江線フォトコンテスト」も開催。
- ・平成23年10月16・23日には、「瀬戸内から日本海へ栄光と追憶のローカル線スペシャル」旅行ツアーにより、三江線の魅力をPR。

「INAKA イルミ」ポスター



三江線旅行ツアー



『創ろう！守ろう！みんなの交通』

地域のみんなが主役のコミュニティタクシーの導入！

平成23年度地域公共交通活性化・再生優良団体大臣表彰受賞

概要

【構成団体】山口市、学識経験者、自治会連合会、公募市民、社会福祉協議会、商工会議所、交通事業者、関係行政機関等

【目標】市民生活と都市活動を支える公共交通の確立

【基本方針】①基本理念 創ろう！守ろう！みんなの公共交通～子や孫の代まで続く公共交通にしよう！

②取組姿勢 市民、事業者、行政みんなが主役となって、それぞれの役割を果たし、協働して創り育てる

【整備方針】基幹交通とコミュニティ交通に機能分担したメリハリある交通体系の構築

○コミュニティタクシーの導入

- ・交通不便地域の交通弱者の移動手段を確保するため、市内8地域で地域住民が主体となったコミュニティタクシーの導入を進める。交通体系の整備方針に基づき、コミュニティ交通に該当する地域への新規のコミュニティタクシー導入を支援する。

コミュニティタクシー 藤木おたっしゃ号



山口市公共交通マップ



○わかりやすい公共交通情報の提供

- ・公共交通の利用のバリアのひとつである、情報の不足を解消するため、鉄道・バス共通の総合的な交通マップ、時刻表の更新・配布やインターネットによる公共交通の情報（地図情報、ダイヤ情報）の提供を行う。

山口市総合時刻表



公共交通週間啓発イベント バス乗り方教室



○公共交通を利用する動機付けとなる事業

- ・公共交通の利用を促進するために、公共交通に対する市民の意識の高揚や利用の動機付けとなる事業として、市民公共交通週間を設定し、イベントの開催や啓発チラシの配布。また、パークアンドライド実証実験事業を行い、公共交通利用への動機付けや新たな需要の創出を図る。